2024年度日本養豚学会賞

第18回養豚功労賞／技術賞／奨励賞(該当するものだけ残しあとは削除）　候補者推薦書

赤字の記載は削除して提出すること。

過去に受賞歴がある場合は、当該受賞の対象業績がわかるリストもしくは要旨（いずれとも様式自由。他誌等の該当箇所のコピーでも可だが、その場合は出典を明記すること）を別紙として併せて提出してもよい（必須ではありませんが、審査の際に候補者に照会の可能性があります）。

1. 候補者の所属，職，氏名，年齢（生年月日）

所属：

職　：

氏名：　（カッコ内にフリガナを記載）

年齢：　　　歳（西暦で記載年　　月　日生）授賞年度末の満年齢を記載

1. 候補者の略歴

大卒以降の略歴を記載、受賞歴がある場合には受賞タイトルとともに記載すること

以下記載例

1xxx年3月　養豚大学　養豚学部　養豚学科　卒業

2xxx年3月　博士（養豚学）（養豚大学）

～　現在に至る

3.　推薦者の所属、職、氏名（推薦者は正会員のみ、本会細則4条による）

所属：

職　：

氏名：

連絡先　電子メールアドレス：

　　　　電話番号：

　　　　FAX番号：

4.　受賞題目

5.　業績概要

おおむね2000字程度、業績目録との関係がわかるように記載。

6. 推薦理由書（2000字以内）

　参考：授賞対象者は以下の通りです。

　養豚功労賞：養豚に関する学術に対する貢献，養豚産業に対する貢献が顕著な会員。

　技術賞：養豚に関する技術の進歩・普及に顕著な業績をあげ，その主要部分が日本養豚学会大会で公表され，刊行物化された会員。

　奨励賞：原則として満35歳以下の会員が対象で，養豚に関する顕著な業績を上げ，将来が有望視される会員。年齢が満35歳を超えている場合については，超えていても奨励賞を授与するに値する理由を記載する。

7.　業績目録

　記載方法は日本養豚学会誌の投稿規程によること（記載例を赤字で示す）。ただし、小型英大文字は用いなくて差し支えない。候補者の氏名にはアンダーライン（ラインの種類は問わない）を付すこと。以下の分類ごとに番号を付すこと。該当する区分の業績がない場合は区分ごと削除し番号を詰めて記載する。業績の記載順序は、候補者が筆頭著者もしくは代表著者のものについて、公表年次が新しいものから順番に記載し、引き続いて候補者が筆頭著者もしくは代表著者でないものについて、公表年次が新しいものから順番に記載する。各業績において2行目以降で字下げするなど視認性に配慮されていれば、ひながたのインデントにこだわらず、適宜の字下げで作成して差し支えない。DOIが付与されている論文についてはDOIを記載する。印刷中の業績のうち，日本養豚学会誌以外に掲載予定の業績については内容が参照できる資料を別紙として併せて提出してもよい（審査の際に内容を照会する場合があります）。

（Ａ）日本養豚学会において発表した業績

１）原著論文

* 1. 養豚太郎・猪突猛・猪突進．日本養豚学会における受賞者公募について．日本養豚学会誌 99: 999-999. 2099. https://doi.org/10.5938/youton.99.9\_999
1. 短報・技術ノート
2. 講演要旨
	1. 猪突猛・養豚太郎．日本養豚学会における受賞者公募に際しての記載様式に関する一考察．第999回日本養豚学会大会．講演要旨．P.99. 2099.

（Ｂ）他誌掲載の業績

1. 原著論文

２）短報・技術ノート等

３）講演要旨

４）その他の業績（著書や招待講演、知的財産）